

NEWS

院内に貼られているポスターにお気づきでしょうか？

紹介受診重点医療機関とは

令和5年7月31日、京都医療センターは厚生労働省ならびに京都府から「紹介受診重点医療機関」に指定されました。

当院は今後、地域の中核病院として救急医療や急性期医療、重篤な難治性疾患の治療などを担当いたします。一方、地域の病院・診療所は患者さんの「かかりつけ医」として、日常生活における体調管理や慢性期の治療を行います。

「かかりつけ医」との役割分担で患者さんにスムーズなケアを

患者さんは、普段は「かかりつけ医」を受診し、専門的な医療が必要になれば「紹介受診重点医療機関」に紹介され、また病状が安定すれば「かかりつけ医」に戻る。これが厚生労働省の定めるこれからの医療のかたちです。医療機関どうしが役割分担をすることにより、患者さんが適切な検査や治療をよりスムーズに受けられるようになり、待ち時間の短縮などが期待されます。

患者さんの病状変化には継続的に対応します

当院では今後も、病状が安定した患者さんを「かかりつけ医」へご紹介させていただきませんが、病状に変化があったり、必要な時には当院で診療をさせていただきます。その際には紹介状をご持参いただくことになります。ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。



京都医療センターへのアクセス

- 公共交通機関**
- 京阪本線「藤森」駅下車 徒歩8分
 - JR奈良線「JR藤森」駅下車 徒歩12分
 - 京阪バス「京都医療センター」下車すぐ

車をご利用の場合

駐車場は台数に限りがあり、混雑が予想されます。当院へお越しの際は、なるべく公共交通機関・無料巡回バスをご利用ください。

無料巡回バスのご案内

平日のみ 30分間隔で運行

「JR藤森」駅、近鉄・地下鉄「竹田」駅より無料巡回バスを運行しております。

近鉄・地下鉄「竹田」駅 ↔ 京都医療センター

「JR藤森」駅 ↔ 京都医療センター

※運行は平日のみです(土曜・日曜・祝日は運休)
※午前8時～14時45分まで、30分間隔で運行しますが、交通事情などにより若干のずれが生じることがあります。巡回バスの遅延により外来予約時間に間に合わない場合があっても、当院は責任を負いかねます。詳細はホームページをご覧ください。

読者アンケート

あなたの声をお聞かせください!

さらに充実した内容、読者の皆さまにお楽しみいただける広報誌を目指しています。ぜひ、アンケートにご協力ください。

アンケートはコチラから▶

今号の表紙 腰部脊柱管狭窄症の原因のひとつである「背骨のくらくつき」を、不安定になったダルマ落として表現しました。



うづらだより

腰部脊柱管狭窄症のお話

うづらだよりピックス グラグラになってませんか？



お薬トリビア

薬剤師がお薬の疑問を解決!

Volume
157
2024
Winter

京都医療センターさん、これ気になります /

うづらトピックス

このコーナーでは、毎回身近な病気や医療をテーマに解説します。

今回のテーマ

腰部脊柱管狭窄症

腰部脊柱管狭窄症とはどんな病気でしょうか？

背骨の中を通過して腰から足へ行く神経が圧迫される病気です。次のような原因があります。

▶ **神経が骨の中でひっかかる**

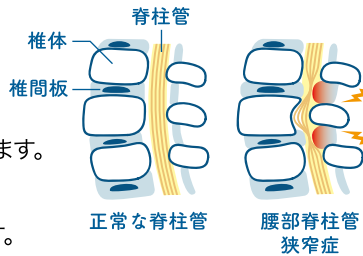
太ももやふくらはぎに痛みやしびれが出ます。

▶ **背骨がぐらぐらする**

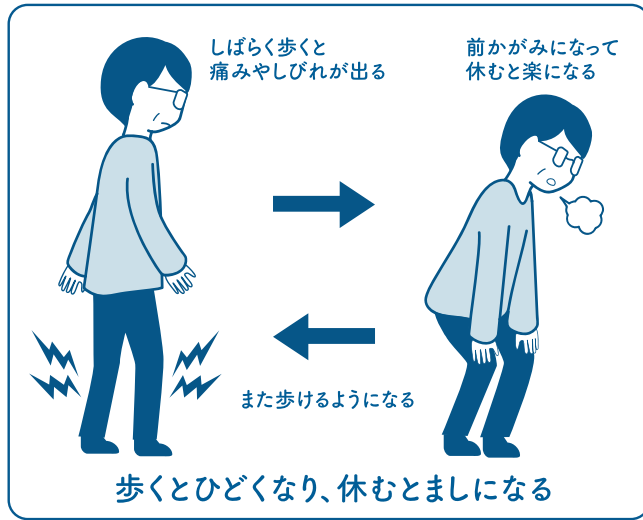
年齢とともに背骨の並びがずれて不安定になります。

▶ **背骨が変形して曲がる**

腰が前や横に曲がると、生活が不自由になります。



代表的な症状



「正しい診断」が鍵になります

診察ではまずレントゲンで背骨がぐらぐらしていないか、変形して曲がっていないかを調べます。神経の圧迫やひっかかりはMRIでチェックします。背骨の詳細な形や隠れた骨折を調べる時はCTでチェックします。診断が難しい場合、背骨全体(首～腰)を調べることもあります。手術の場合は整形外科の脊椎・脊髄外来でご相談ください。

先生からのアドバイス

腰部脊柱管狭窄症と言われたら・・・

軽症の場合、内服薬で症状が緩和します。症状が強い場合は手術を検討しますので、脊椎・脊髄外来でご相談ください。神経の圧迫やひっかかりが取れると症状が楽になります。ぐらぐらした背骨や強い変形の場合は、固定手術で安定化させ変形を矯正します。変形が強い場合、当院では最先端のナビやハイブリッド手術室を使います。



ピックアップニュース

がん患者サロン「うづら」活動のご案内

がん患者さんやそのご家族の交流の場として、がん患者サロンを開催しています。さまざまな悩みから日々の何気ないことまで、ぜひ気軽にお話をしに来てください。

- 予約不要
- 1回だけの参加OK!
- 途中参加・退出OK!



日時: 毎週金曜日 10:00~15:00

場所: 当院3F 中央診療棟と病棟の渡り廊下スペース(旧レンタルサービス横)

薬剤師がお薬の疑問を解決!

お薬トリビア

薬剤部 小田 亮介



お薬を飲んでいて疑問に思うことはありませんか? 患者さんからの「よくある質問」についてQ&Aでお答えします!

Q お薬を飲み忘れたことに気が付いたら、その時、すぐに飲んだ方がいいですか?

A ご自身での判断は危険です! お薬によって対処方法が異なりますので医師または薬剤師にお尋ねください。



対処方法が異なる理由

- 2回分を一度に飲んだり、次の服用タイミングが迫っているときに飲んだりすると、お薬の効果が強く出ることがあります。
- 食事の前に飲まないといけないお薬を食後に飲むと、効果が出なかったり、逆に効果が強く出すぎたりすることがあります。

大切なのは、飲み忘れをしないことです。ご自身の生活スタイルに合わせて、飲み忘れをしにくい方法を考えましょう。

次回のお薬トリビアも「よく質問があること」についてお届けします

シリーズINTERVIEW / Personality 岸本 香織さん



過去の放送はこちらから

FM845 京都リビングエフエム

毎月最終火曜日 14:05~14:30 放送

FM845 「カラダ元気」出演報告

2023.10.31 外科診療科長 畑 啓昭

「逆流性食道炎・食道裂孔ヘルニアのはなし」

症状や治療法を紹介。ひどい胸焼けなど気になる症状のある方は、まずは胃カメラ検査を受けましょう。

2023.11.28 感染管理認定看護師 宮川 英和

「日常生活での感染予防について」

新型コロナウイルス・インフルエンザウイルスに対する感染予防のポイントを解説。基本は手洗いとマスクの着用です。

2023.12.26 救命救急部長 趙 晃濟

「救急医の仕事について」

救急医という急病や怪我の診療というイメージですが、近年活躍の場が広がっており、その一部を紹介します。

今後の放送予定

2024年1月30日	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 山口 理恵子
2024年2月27日	外科医長 水野 礼
2024年3月26日	がん化学療法看護認定看護師 田中 雅子